

施工説明書

シャワートイレ KA シリーズ
KB シリーズ

CW-KA32 型 CW-KA31 型
CW-KB32 型 CW-KB31 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。

保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ～ 18:00 土・日・祝日 9:00 ～ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにおまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。

特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- コンセントは **AC100V、定格消費電力（下記参照）に適したアースターミナル付接地極付コンセント** を使用してください。
【CW-KA32 型の場合→ 392W・CW-KA31 型の場合→ 310W】
【CW-KB32 型の場合→ 392W・CW-KB31 型の場合→ 310W】
- すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- 必ずアースターミナルは、**D 種** 接地工事に準じた工事を行ってください。
アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。
※施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

便器の確認（キャビネット付便器以外）

1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件は**カタログ**などに**てご確認**ください。
2. 本体給水ホース（同梱）の使用可能な条件
分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 800mm 未満が適切です。
※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-27D（1350mm）または CWA-28D（2000mm）を手配してください。
3. **タンク給水ホース（別売品）の使用可能な条件**
止水栓とロータンクの間の距離によって使用できない場合があります。
 - 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm～300mm の場合：タンク給水ホースが使用できます。
9 ページ [補足 2] をご覧ください。
 - 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm～300mm 以外の場合：タンク給水ホースが使用できません。
※既存のサプライン管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。
8 ページ [補足 1] をご覧ください。

使用する水は？

- 給水は必ず水道水および飲用可能な井戸水に接続してください。
中水道、工業用水などを使用すると機械内部の腐食等により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- 給水圧力は 0.06MPa ～ 0.75MPa が必要です。
0.06MPa 以下の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
- 給水は便器の止水栓から取ってください。
フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

施工手順

1 止水栓を閉める

2 既存便座の取外し
(既存の便座を取り替える場合)

3 分岐金具の取付け

4 便器の取付穴位置の確認

5 本体着脱プレートの取付け

6 シャワートイレ本体の取付け

7 給水ホースの取付け

8 電源の接続

9 リモコンの位置決め・取付け

10 試運転

快適機能とは
お客さまにシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。

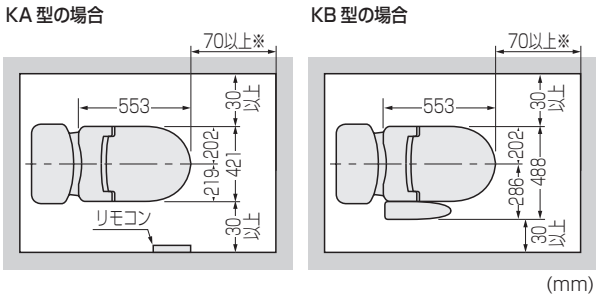
- 便座・温水の温度*
- 脱臭機能
- 節電機能
- 便座ヒーターオート OFF
- 温風始動温度切替え

*：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
※機種によっては、一部機能がない場合があります。

必要なスペースは？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。
トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。
製品に向かって右側・左側ともに 30mm 以上の空間を確保してください。30mm 未満ですとスライド着脱ができなくなります。また、動作の妨げになる場合があります。

※シャワートイレ本体を取付け、取外しする際に、スライド着脱が出来るように 70mm 以上の空間を確保してください。



準備工具

- モンキーレンチ（26mm 以上調節可のもの）またはスパナ類（23 ～ 26mm）
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- パイプカッター（サプライン管を切断する場合）



メーカー管理用です。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- 警告
- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意
- 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

- 指示実行
- 施工説明書に従い、正しく施工する。
※感電・火災・ケガの原因になります。
- 分解禁止
- 分解や改造は絶対に行わない。
※感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれ手禁止
- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
※感電の恐れがあります。
- 指示実行
- 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。
- 水かけ禁止
- 本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※感電・火災の原因になります。
- 禁止
- AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※感電・火災の原因になります。
- 指示実行
- 電源プラグは根元まで十分差し込む。
※感電・火災の恐れがあります。

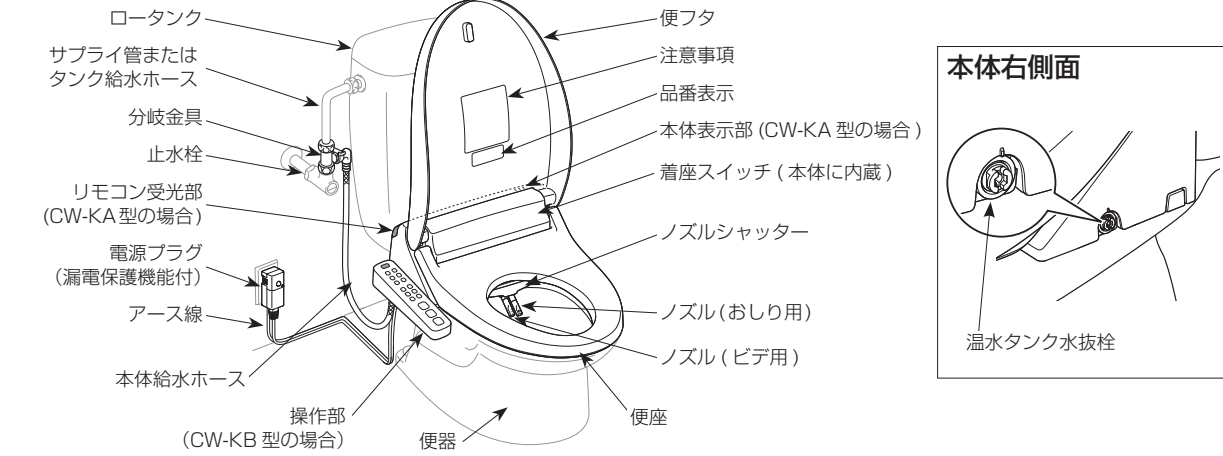
- 禁止
- 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
※電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。
- 禁止
- ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※感電・火災の原因になります。
- アース接続
- アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 水場使用禁止
- バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
※感電・火災の原因になります。
- 禁止
- 水道水および飲用可能な井戸水以外に接続しない。
※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

注意

- 指示実行
- 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
※製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行
- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

- 指示実行
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
※漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行
- お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
※凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
※凍結破損により火災の原因になります。
- 指示実行
- 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生 の恐れがあります。

各部のなまえ



同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。

フルオート便器洗浄付の場合

1

フルオート便器洗浄ユニット

※キャビネット付便器および QV タイプには同梱されていません。

説明書セット

3

※キャビネット付便器（フロートイレ J フィット）には同梱されておりません。

分岐金具

バックシン（黒：厚さ 2mm）

5

本体着脱プレート

本体取付ボルト

6

【CW-KA 型の場合】

【CW-KB 型の場合】

シャワートイレ本体

7

クイックファスター

本体給水ホース（全長 950mm）

※キャビネット付便器（フロートイレ）（全長 1350mm）

※キャビネット付便器（J フィット）には同梱されていません。

バックシンセット

※キャビネット付便器（J フィット）には同梱されていません。

バックシン（青：厚さ 2mm）

スリッ

ワッシャー※ 1

バックシン（黒：厚さ 4mm）※ 1

当たり止め

※キャビネット付便器に同梱されています。

※ 1：既存のサプライン管を切断した場合に使用します。

9 【CW-KA 型の場合】

ホルダー

※ホルダーは本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。

リモコン本体

木ねじ

プラスチックアンカー

電池（単三形 2 本）

別売品

止水栓付分岐栓 (CF-006)
※止水栓付を使用する場合は別途こちらを手配してください。
※シャワートイレ側の給水を止水できます。

固定ビス (H20-648)

※本体着脱プレートを本体に固定して、スライド着脱機能を無効にできます。便座昇降装置おしリフト (CWA-40) には同梱されています。

タンク給水ホース（全長 350mm）(CWA-24D)

バックシン（青：外径 18mm、内径 12mm、厚さ 2mm）50-15 (1P)

※バックシン（青）とタンク給水ホースはセットではありません。それぞれを別途手配してください。

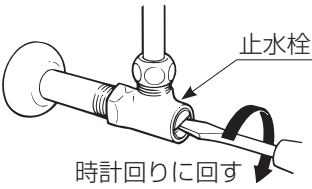
キャビネット付便器と組み合わせる場合は、
施工する前に右を読み取りご参照ください。



1 止水栓を閉める

便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっばいに閉め、給水を止めます。

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2 既存便座の取外し

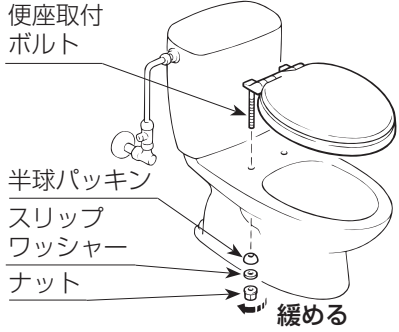
既存の便座を取り替える場合、以下の手順をご覧ください。

※ 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。

※ 取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

■ボルト式の場合

1. 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
2. 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。



※ 既存のシャワートイレを取り替える場合、シャワートイレ本体の取扱説明書をご覧ください。

■さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。
2. さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。
3. さや 2 本を便器から抜きとる。



3 分岐金具の取付け【注意 3-1 参照】

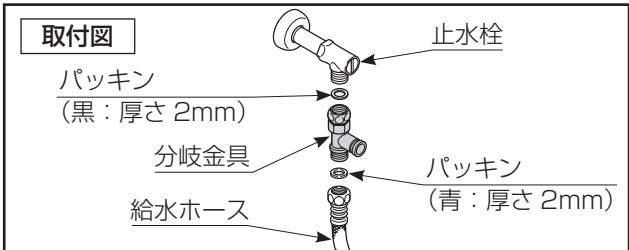
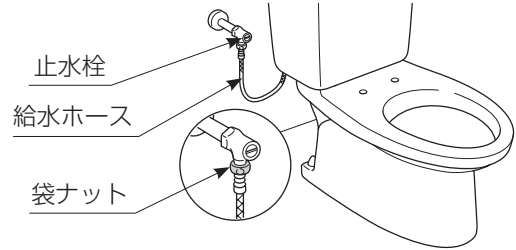
給水を確認する。

止水栓と便器（ロータンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。

※ サプライ管を取り付ける場合は【補足 1】をご覧ください。

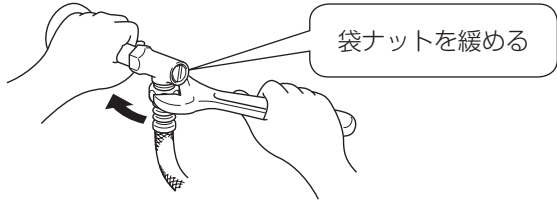
※ キャビネット付便器の場合は、同梱されている専用の施工説明書にしたがって、分岐金具を取り付けます。

■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（袋ナット固定）



-5-

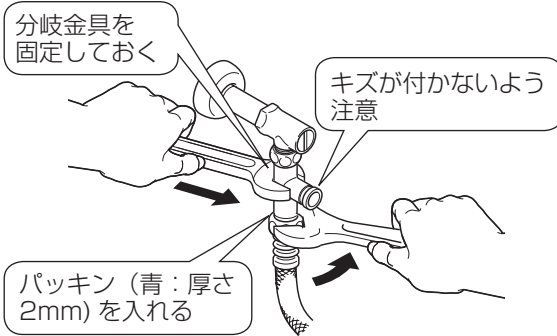
1. 給水ホースを取り外す。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



2. 分岐金具を止水栓に取り付ける。
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})



3. 給水ホースを取り付ける。
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})
※ 給水ホースがねじれないように注意してください。

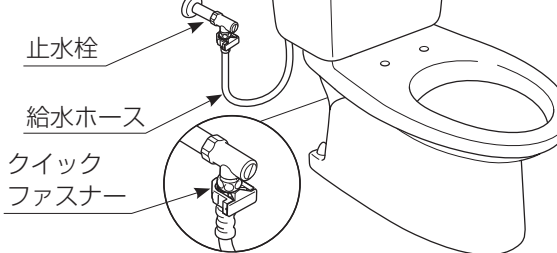


【注意 3-1】

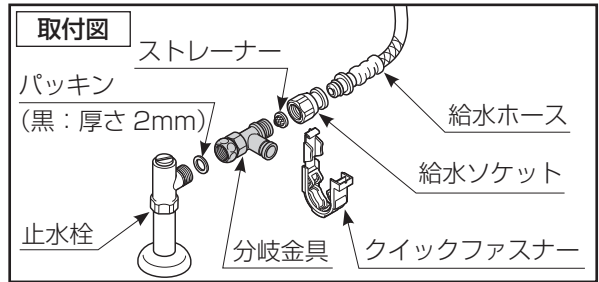
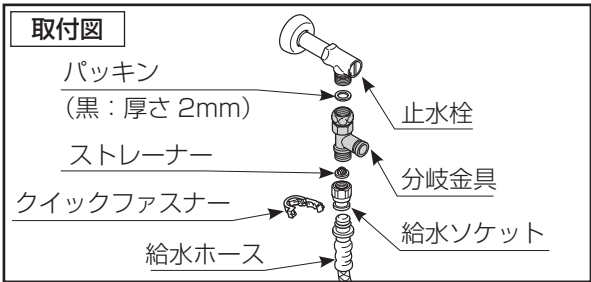
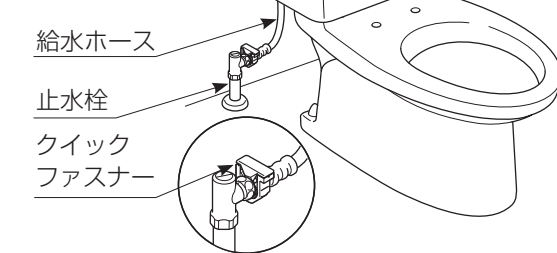
- 止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006 (止水栓付) を使用する。
※ 漏水の原因になります。

■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（クイックファスナー固定）

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉

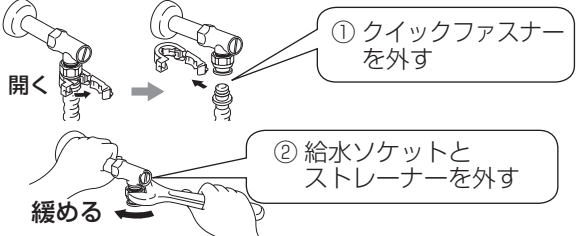


-6-

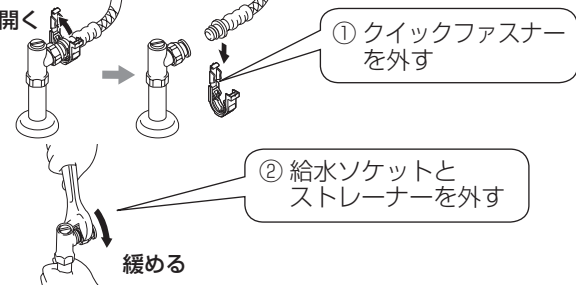
1. 給水ホースと給水ソケットを取り外す。
【参考 3-1 参照】

※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

〈壁給水の場合〉

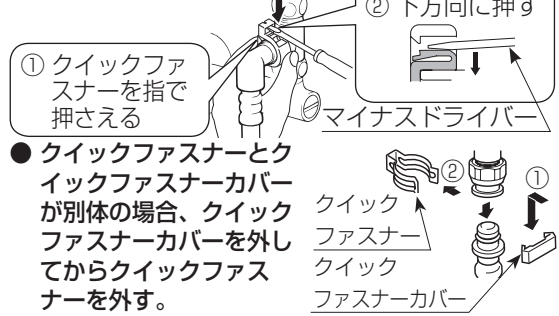


〈床給水の場合〉

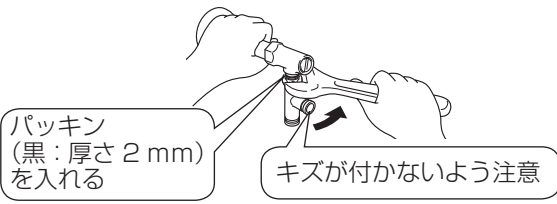


【参考 3-1】

- クイックファスナーを外す際は、下方向に押すようにして外す。

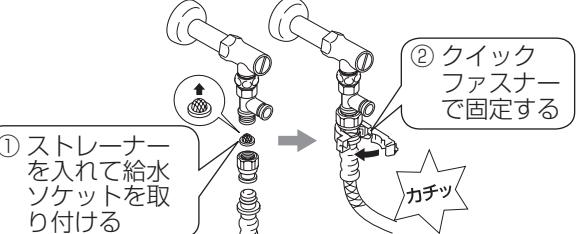


2. 分岐金具を止水栓に取り付ける。
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})

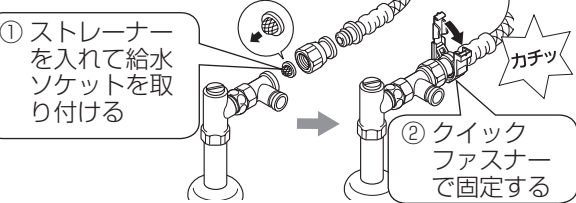


3. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。
【注意 3-2 参照】【注意 3-3 参照】
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})

〈壁給水の場合〉

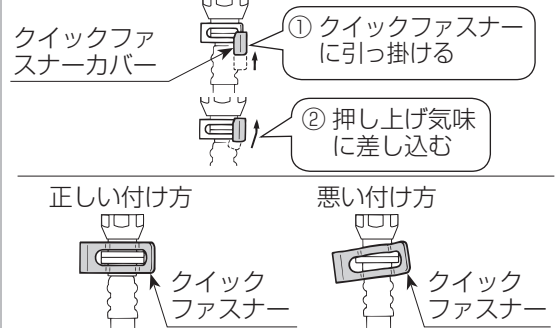


〈床給水の場合〉



※ 取付け後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

- クイックファスナーとクイックファスナーカバーが別体の場合、クイックファスナーカバーは下記のようにはめ込む。

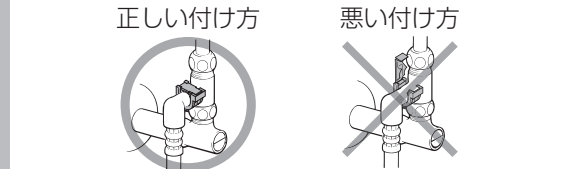


【注意 3-2】

- O リングにキズを付けないように注意する。
※ O リングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

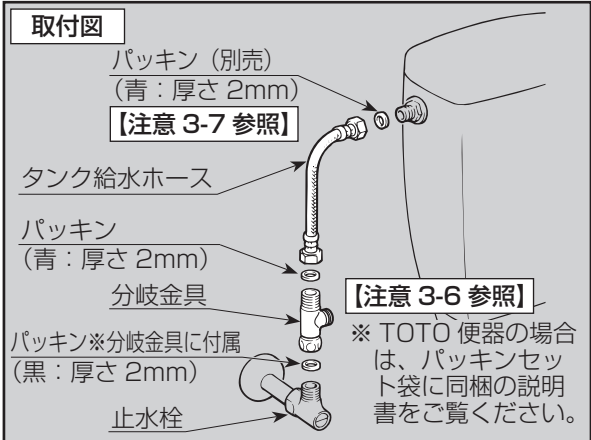
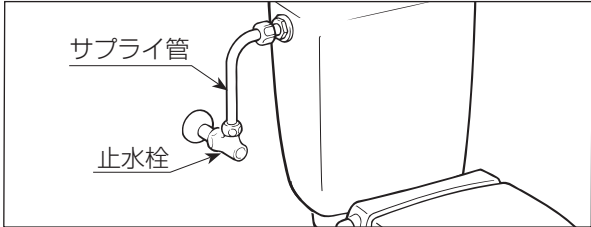
【注意 3-3】

- クイックファスナーは確実にはめ込む。



-7-

■止水栓とロータンクが サプライ管で接続されている場合



1. サプライ管を外す。
【注意 3-4 参照】

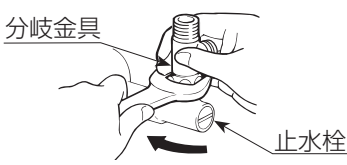
タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサプライ管を外します。

※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



2. 分岐金具を取り付ける。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})



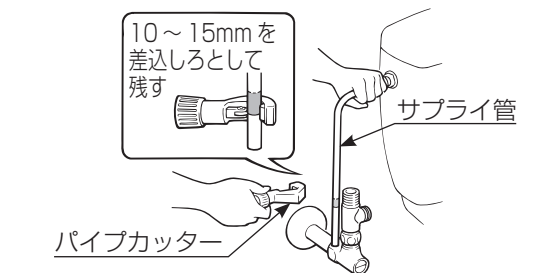
サプライ管を切断して取り付ける場合は、
【補足 1】をご覧ください。

新たにタンク給水ホースを取り付ける場合は、
【補足 2】をご覧ください。

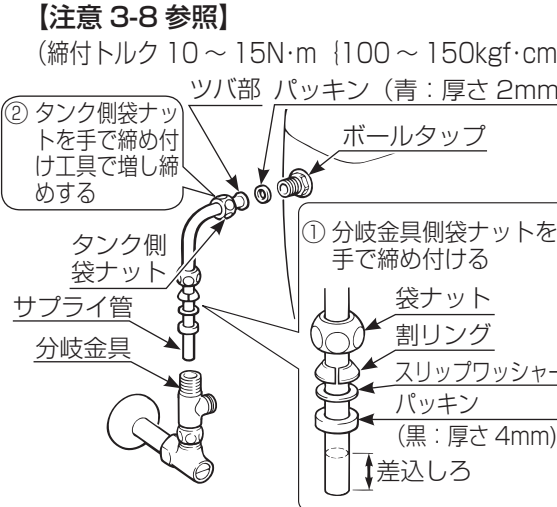
補足 1 サプライ管を切断する場合の取付け 【注意 3-4 参照】

1. サプライ管（分岐金具側）を切断する。
【注意 3-5 参照】

※ サプライ管の切断にはパイプカッターを使用してください。



2. サプライ管を取り付ける。
【注意 3-6 参照】【注意 3-7 参照】
【注意 3-8 参照】
(締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm})

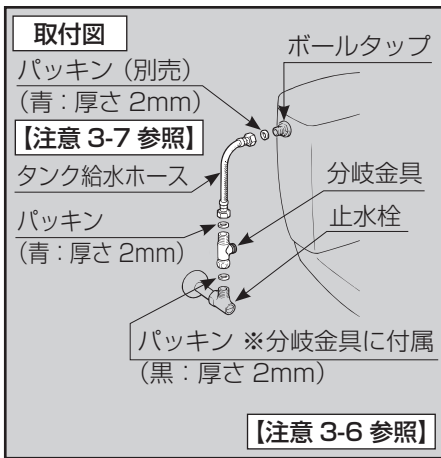


-8-

補足 2

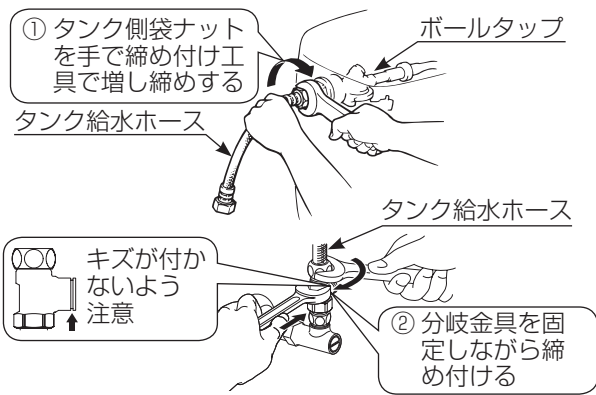
タンク給水ホースの取付け

※【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。
(☞ P.3「便器の確認」3.)



1. タンク給水ホースを取り付ける。

【注意 3-7 参照】【注意 3-8 参照】【注意 3-9 参照】
※ 給水ホースがねじれないように注意してください。
(締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm})



【注意 3-4】

- 止水栓やサプライ管に無理な力を掛けない。
※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 3-5】

- サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。
- サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。
- 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。固定できない場合はタンク給水ホース（品番：CWA-24D）を使用する。
※ 漏水の原因になります。

【注意 3-6】

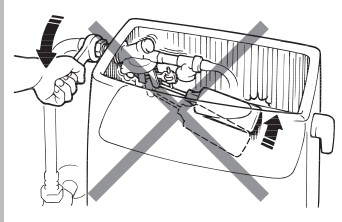
- 各用品の向きと順序を間違えないようにする。
※ 間違えると漏水します。
- 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24D）を使用する。
※ 漏水の原因になります。
- サプライ管の接続は確実に行う。
※ 漏水の原因になります。

【注意 3-7】

- 当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配のストレーナー付パッキン（品番：26-10-2）に交換する。このとき同梱のパッキン（青：厚さ2mm）は取り付けない。

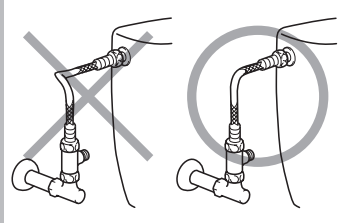
【注意 3-8】

- ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



【注意 3-9】

- タンク給水ホースは鋭角に曲げない。
※ 破損して漏水の原因になります。
- パッキンは必ず付属品を使う。
※ 漏水の原因になります。

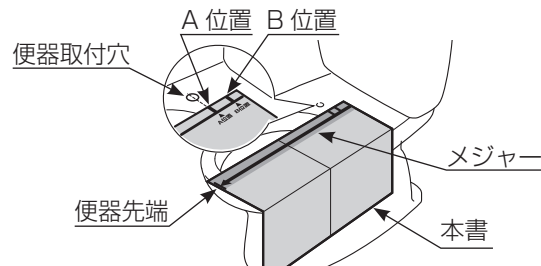


4

便器の取付穴位置の確認

便器の取付穴位置を確認する。

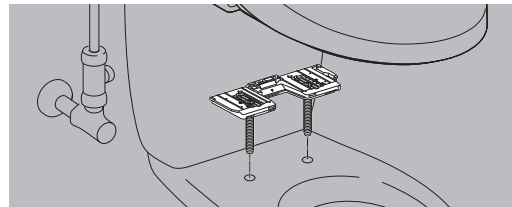
本説明書端の「便器先端位置」と便器の先端を合わせ、便器取付穴の位置が「A 位置」または「B 位置」が確認します。
※ メジャーは便器の中心に置いて測ってください。



5

本体着脱プレートの取付け

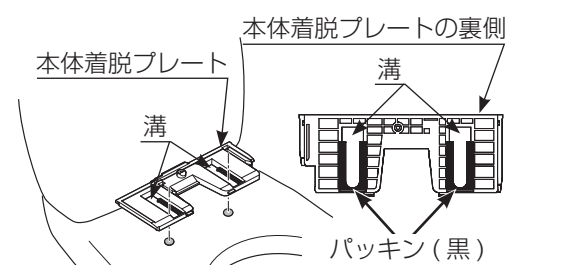
必ず同梱の着脱プレートを取り付けてください。



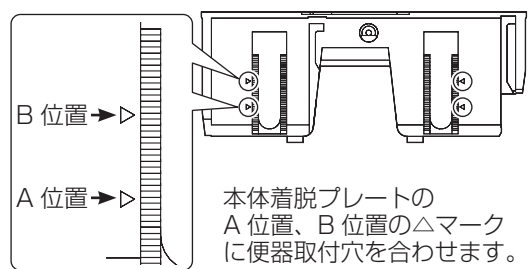
1. 本体着脱プレートを仮固定する。

【注意 5-1 参照】

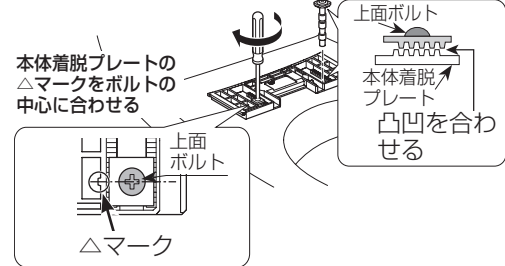
- ① 本体着脱プレートのパッキン（黒）が付いている側を便器側に向けて、本体着脱プレートの左右の溝から便器取付穴の左右の穴が見えるように置きます。



- ② 「1. 便器の取付穴位置を確認する」で確認した便器取付穴位置が「A 位置」の場合は本体着脱プレートの A 位置、「B 位置」の場合は本体着脱プレートの B 位置に便器取付穴を合わせます。



- ③ 上面ボルト 2 本を穴に差し込んで本体着脱プレートの凹凸を合わせます。
※ ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。

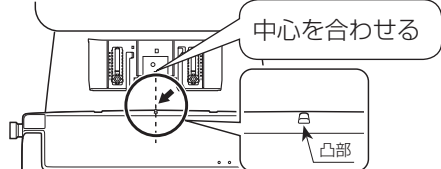


- ④ ボルトが浮かないように、上から押しながら、着脱プレートがガタつかないように仮固定します。

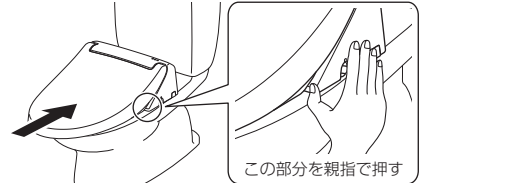
2. シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する。

【注意 5-2 参照】

- ① 本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
- ② 本体着脱プレートの中心と本体の中心（凸部）を合わせます。

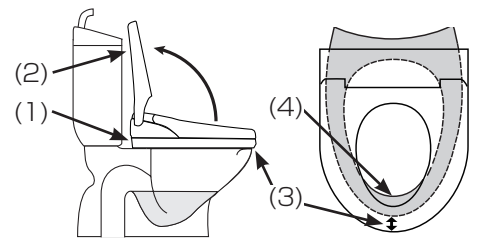


- ③ 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。
※ 「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはありません。

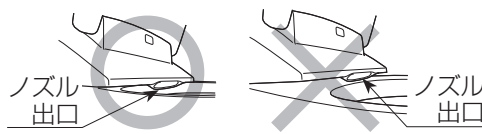


- ④ 以下の条件にあてはまる場合は、シャワートイレ本体を外して本体着脱プレートの位置を調整してください。

- (1) シャワートイレ本体の背面がタンクに当たっている
- (2) 便フタを開けると、便フタがタンクに当たり閉じてくる
- (3) シャワートイレ本体の先端が、便器の先端より出すぎている（便器先端から便座が出る位置の目安は 5～20mm）
- (4) 便器のフチが上から見えすぎている



- (5) ノズルの出口が、便器のフチに乗り上げていたり、干渉したりしている。



※ 本体の外し方は本ページの「シャワートイレ本体の外し方」を参照してください。
※ 本体着脱プレートを調整する際は、A 位置、B 位置を目安に、上の条件が解消されるように調整してください。

3. シャワートイレ本体を外してから、上面ボルトをしっかりと締めて、本体着脱プレートを固定する。

【注意 5-1 参照】【注意 5-2 参照】
【注意 5-3 参照】

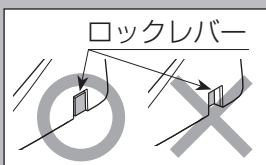
ボルトが浮かないように、上から押ししながら、回らなくなるまでしっかりと締め付けます。それ以上回らないことを、1～2 回程度回して確認し、確実に締まっていることを確認してください。（締付トルク 1.0～3.0N・m {10～30kgf・cm}）
※ 本体の固定が不十分だと、製品の取付け時にガタつく恐れがあります。
※ 本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。

【注意 5-1】

- ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。
※ 締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

【注意 5-2】

- 本体右側にあるロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。
- ロックレバーが奥に入った状態では、本体と本体着脱プレートが固定されておらず、本体が便器から外れる可能性があります。
- 本体を奥に突き当たるまで押し込み、しっかり固定させてください。



【注意 5-3】

- 電動ドライバーは使用しないでください。
※ 部品が破損する恐れがあります。

■ シャワートイレ本体の外し方

本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、手前にスライドさせます。



■ キャビネット付便器・QV タイプの場合

右図のようにシャワートイレ本体底部のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。



※ コネクターはカチッと音がするまで、しっかり接続してください。

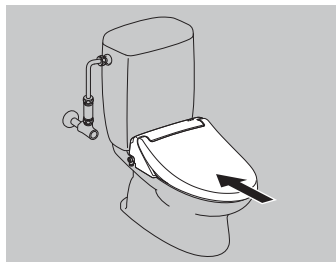
6

シャワートイレ本体の取付け

シャワートイレ本体を確実に取り付ける。

【注意 5-2 参照】

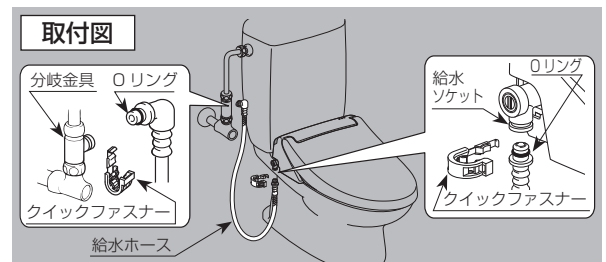
- ⑤-2. ①～③（☞ P.10「シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する」）の手順でシャワートイレ本体を確実に取り付けてください。
※ 本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはありません。



7

給水ホースの取付け

【注意 7-1 参照】【注意 7-2 参照】



1. 給水ホースを本体側に取り付ける。

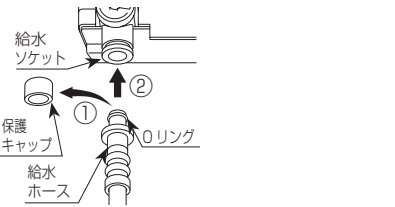
※ キャビネット付便器の場合は、同梱されている専用の施工説明書にしたがって、給水ホースを取り付けます。

- ① 保護キャップを外します。
- ② 給水ホースを差し込みます。

【注意 3-2 参照】

【注意 7-3 参照】

※ 給水ソケットが回転しますが、これは構造上によるもので故障ではありません。

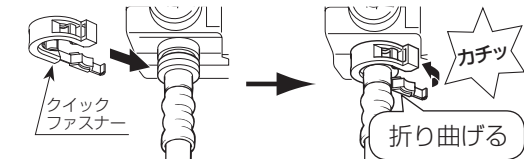


- ③ クイックファスナーで固定します。

【注意 3-2 参照】【注意 3-3 参照】

【注意 7-4 参照】【参考 3-1 参照】

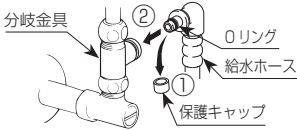
※ クイックファスナーに方向性はありません。
※ 取付後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。
また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



2. 給水ホースを分岐金具側に取り付けます。

- ① 保護キャップを外します。
- ② 給水ホースを差し込みます。

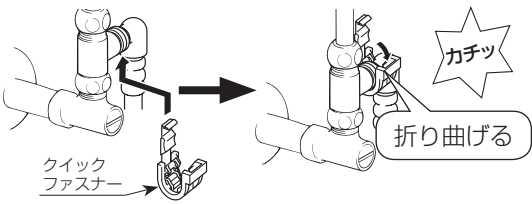
【注意 7-3 参照】



③ クイックファスナーで固定します。

【注意 3-2 参照】 【注意 3-3 参照】
【注意 7-4 参照】 【参考 3-1 参照】

※ クイックファスナーに方向性はありません。
※ 取付後にクイックファスナーを回し、確実にはまっていることを確認してください。
また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



【注意 7-1】

- 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意 7-2】

- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。
※ 感電・火災の原因になります。

【注意 7-3】

- 給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。
※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 7-4】

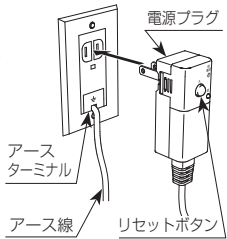
- クイックファスナーの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。
※ 漏水の原因になります。

8 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

【注意 8-1 参照】

- ① アース線を接続します。
- ② 電源プラグを差し込みます。

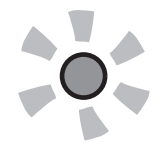


※ このとき、おしりノズルが約 10 秒間伸びてから戻ります。

2. 電源が入っていることを確認する。

〈KA シリーズの場合〉

本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。



〈KB シリーズの場合〉

操作部の【洗浄強さ】の表示ランプが点灯していることを確認してください。

⚠ 警告



確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 8-1】

- 電源ランプまたは表示ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、ランプが点灯することを確認する。
※ 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。
- リセットボタンを押しても電源ランプ（緑）または表示ランプが点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200V が通電していないかを確認する。

9 リモコンの位置決め・取付け 【CW-KA 型の場合】

リモコンに同梱されている施工説明書にしたがって、リモコンを取り付けます。

10 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

● 水漏れ箇所はありませんか？

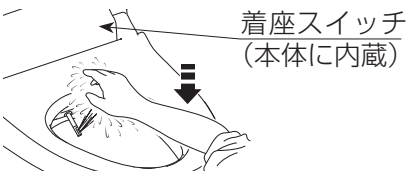
1. 止水栓を元の位置まで開く。

漏水確認	チェック欄	確認内容	
		漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 （給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。）	
	☐	① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	☐	② 本体と給水ホースとの接続部	

● おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 10-1 参照】 【注意 10-2 参照】 【注意 10-3 参照】

- 1. 電源が入っていることを確認する。
- 2. 便座を押し下げ、着座スイッチを入れる。



確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	☐	1. ノズルから水が出ますか？ ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	☐	2. 【止】を押すと水が止まりますか？	
ビデノズル	☐	1. ノズルから水が出ますか？ ① 【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	☐	2. 【止】を押すと、水が止まりますか？	

※ シャワーが噴出するまでに約 1 ～ 2 分かかることがあります。
※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約 15 分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	☐	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	☐	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？	
暖房便座	☐	1. 便座に手で触れ、温かくなっていますか？	

● 便器洗浄は正常ですか？ 【フルオート便器洗浄ユニット付（Q タイプ）の場合】

- 1. リモコンの【流す大】または【流す小】を押して、便器洗浄が確実に行われることを確認する。

【注意 10-1】

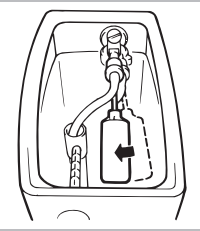
- インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。

【注意 10-2】

- 着座スイッチがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

【注意 10-3】

- タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。
浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。
 1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。
 2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

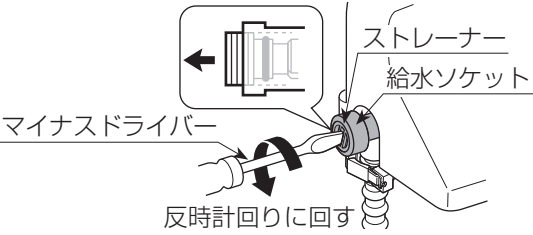
1. 「止水栓」を開めて、給水を止める。

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2. 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。

【注意 11-1 参照】

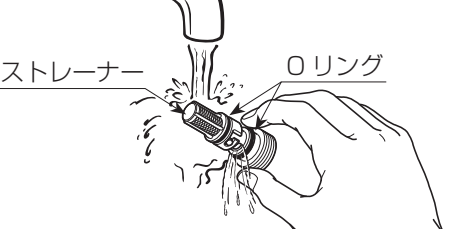
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



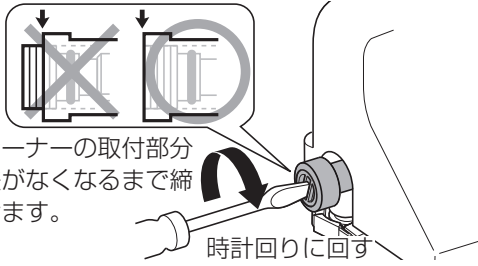
※ 工具が届かない場合は、本体を外してください。
※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

【注意】
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3. 「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取除く。



4. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける。

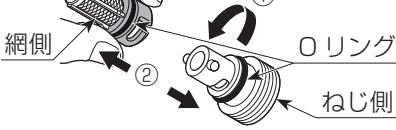


【取付時の注意】
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

5. 「止水栓」を元の位置まで開く。

6. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

- ストレーナーの汚れがひどい場合はストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
- ※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
- ※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



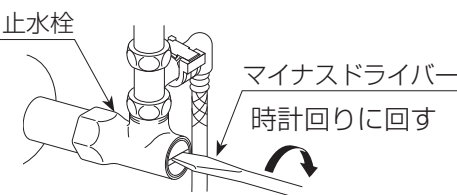
【注意 11-1】

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を開める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり開める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1. 「止水栓」を開めて、給水を止める。

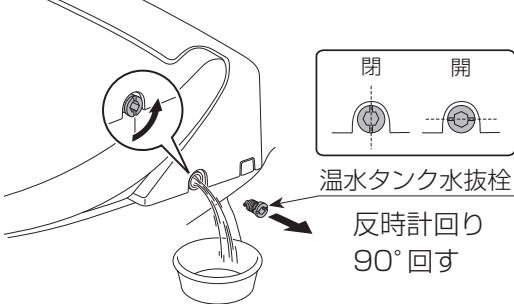
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
※ 寒冷地用水抜き式は、室内の水抜栓を操作します。



- 2. ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く。
- 3. 電源プラグをコンセントから抜く。
- 4. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。

あらかじめ水受け（約 1L 以上入るもの）を用意します。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。

※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。



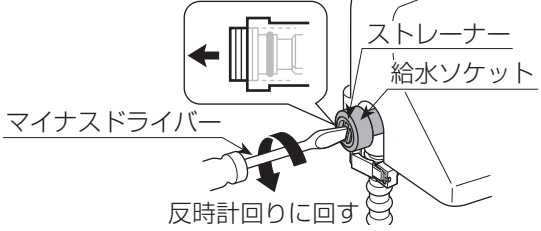
5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。

マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。

6. 本体給水ホースから水を抜く。

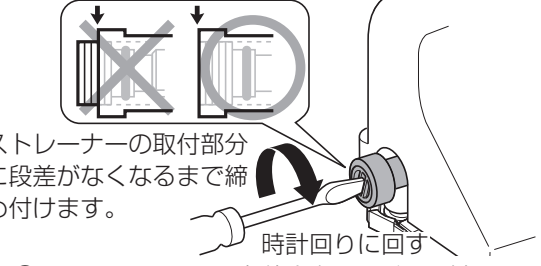
【注意 11-1 参照】

- ① ストレーナーの下に洗面器などを置きます。
- ② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取除きます。



- ③ シャワートイレ本体を便器から取り外します。
（「[5] 本体着脱プレートの取付け手順 2」の逆の手順）

- ④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。
- ⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



- ⑥ シャワートイレ本体を便器に組み付けます。

7. 電源プラグをコンセントに差し込む。

8. 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く。
※ 便座を押し下げて【おしり】を押してください。

9. 約 5 秒後、【止】を押す。

10. 電源プラグをコンセントから抜く。